



令和元年度国立特別支援教育総合研究所セミナー 参加のご案内

インクルーシブ教育システムの推進

- ◇ 期 日 **令和2年2月21日(金)・22日(土)**
- ◇ 時 間 <1日目> 12:00～17:00(受付11:00～)
 <2日目> 9:30～16:10(受付 9:00～)
- ◇ 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
 カルチャー棟 大ホール
 (東京都渋谷区代々木神園町3-1)
- ◇ 主な内容
 1日目 「カリキュラム・マネジメントの視点を踏まえた学習評価」
 講演、パネルディスカッション
 2日目 「研究成果報告」
 基幹研究成果報告、地域実践研究成果報告
 ポスター発表・支援機器等教材展示など
- ◇ 主 催 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所
 <https://www.nise.go.jp/nc/>



国立特別支援教育総合研究所
「子どもとともに」モニュメント

国立特別支援教育総合研究所(NISE)では、研究活動等の成果普及、特別支援教育に関する理解啓発、教育関係者や関係機関との情報共有を図るため、毎年、本セミナーを開催しています。

本研究所は、第4期中期目標期間(平成28年度～令和2年度)においては、国や地方公共団体等と連携・協力しつつ、特別支援教育を取り巻く国内外の情勢の変化も踏まえた国の政策課題や教育現場の課題に柔軟かつ迅速に対応する業務運営を行い、もって障害のある子供一人一人の教育的ニーズに対応した教育を実現し、インクルーシブ教育システムの構築に向けて貢献することを目指しています。今年度のセミナーでは、初日に特別支援教育に関する最新動向についての講演や学習評価の基本的な考え方に関する講演、カリキュラム・マネジメントの視点を踏まえた学習評価に関するパネルディスカッションを行います。また、研究所における研究概要や研究成果について2日目に紹介いたします。

本セミナーが、参加された皆様にとって、特別支援教育の推進のための実り多い機会となることを期待しております。

理事長 宍戸 和成

1日目 2月21日(金)

辻村賞授賞式・記念講演

12:00～12:45

本研究所初代所長辻村泰男氏のご遺徳をたたえ、特別支援教育の領域において特に顕著な功績のあった者、及び団体等を表彰し、記念講演を行います。

開会式

13:00～13:15

主催者挨拶 宍戸 和成 (国立特別支援教育総合研究所 理事長)

講演1 「特別支援教育に関する最新動向」

13:15～13:45

講師 俵 幸嗣氏 (文部科学省初等中等教育局特別支援教育課長)

講演2 「学習評価の基本的な考え方」

13:45～14:45

講師 青木 隆一氏 (文部科学省初等中等教育局視学官(併)特別支援教育課特別支援教育調査官)

パネルディスカッション

15:00～17:00

「各学校における特別な配慮を必要とする子供たちの学習評価の現状と課題」 ～カリキュラム・マネジメントの視点から～

「学習指導」と「学習評価」は学校の教育活動の根幹であり、教育課程に基づいて組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図る「カリキュラム・マネジメント」の中核的な役割を担っています。さらに新学習指導要領で重視している「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を通して、各教科等における資質・能力を確実に育成することが求められています。例えば、多様な学びの場在籍する障害のある児童生徒などへの各教科等の指導において、小・中・高等学校学習指導要領には、児童生徒の障害の状態等に応じた指導内容や指導方法の工夫を計画的、組織的に行うことが明記され、施される手立てや配慮の成果や児童生徒の学びの状況を適切に把握することが重要になります。

このようなことから、新学習指導要領が目指す教育活動の展開において、学習評価は要であることが分かります。本セッションでは、講演の内容も踏まえ、新学習指導要領が目指すカリキュラム・マネジメントや授業改善の視点から、多様な学びの場で学ぶ障害のある児童生徒などへの学習評価の現状や課題等についてパネルディスカッションを行います。

コーディネーター 横倉 久 (国立特別支援教育総合研究所 情報・支援部)

パネラー 山中ともえ氏 (調布市立飛田給小学校長)

高岡 麻美氏 (府中市立府中第三中学校長)

朝日 滋也氏 (東京都立大塚ろう学校長)

武富 博文氏 (神戸親和女子大学 准教授)

スケジュール

<1日目> 令和2年2月21日(金) (カルチャー棟：大ホール)

	11:00		12:00		12:45	13:00	13:15	13:45		14:45	15:00		17:00
		受付		辻村賞授賞式	休憩	開会式	講演1	講演2		休憩		パネルディスカッション	

2日目 2月22日(土)

研究概要紹介・研究成果報告

9:30~12:00

本セッションでは、本研究所が取り組んでいる研究概要について紹介いたします。また、基幹研究の中から、3つの研究課題の研究成果について報告いたします。

研究概要紹介

我が国の特別支援教育施策への寄与及び教育現場の課題解決に向けた研究活動について

報告者 棟方 哲弥 (国立特別支援教育総合研究所 研究企画部)

研究成果報告

高等学校及び特別支援学校高等部を対象とした特別支援教育に係る教育課程の編成・実施状況に関する調査

報告者 若林 上総 (国立特別支援教育総合研究所 研修事業部)

北川 貴章 (国立特別支援教育総合研究所 情報・支援部)

インクルーシブ教育システムを推進し、主体的な取組を支援するための「インクルCOMPASS (試案)」の提案

報告者 星 祐子 (国立特別支援教育総合研究所 インクルーシブ教育システム推進センター)

言語障害のある中学生の指導・支援の充実に関する研究

報告者 滑川 典宏 (国立特別支援教育総合研究所 情報・支援部)

ポスター発表等各種展示

13:00~14:00

本研究所の障害種別研究の成果発表や実践発表を、ポスター展示及び参加者との質疑応答により行います。下記の内容について、パネル・資料・教材等の展示により紹介するとともに、直接、本研究所の担当者が説明いたします。

ポスター発表を行う障害種別研究班 : 視覚、聴覚、知的、肢体不自由、病弱、言語、自閉症、発達、重複

展示 : インクルDB、ICT支援機器等

地域実践研究成果報告

14:10~16:10

地域実践研究はインクルーシブ教育システム構築に向け、地域や学校が直面する課題を研究テーマに設定し、本研究所と地域が協働して課題の解決を目指すものです。

本報告では、「小・中学校における特別支援教育に関する校内研修」と「高等学校の学校づくりにおける特別支援学校との連携」をテーマとした地域から、研究成果と今後の展望について発表していただきます。また、アドバイザーからは本報告を踏まえて、地域実践研究の有する意味やインクルーシブ教育システム推進に関する課題等についてお話しいたします。

司 会 横尾 俊 (国立特別支援教育総合研究所 インクルーシブ教育システム推進センター)

報告者 若月 雅子氏 (埼玉県教育委員会 指導主事)

三好 辰昌氏 (埼玉県立駒西特別支援学校 主幹教諭)

和久田欣慈氏 (静岡県教育委員会 班長)

大石 恵理氏 (静岡県立藤枝特別支援学校 教諭)

アドバイザー 原 広治氏 (島根大学 教授：地域実践研究アドバイザー)

スケジュール

<2日目> 令和2年2月22日(土) (カルチャー棟：大ホール)



◇参加申込

- (1) 申込要領 **本研究所のホームページからお申込みください。**
https://www.nise.go.jp/nc/training_seminar/special_seminar/r1
参加申込を受け付けましたら、後日メール等にてお知らせします。
また、本セミナーへの参加に当たり、手話通訳、車いす等の配慮を必要とする場合は、申込時にその旨をお知らせ願います。
なお、インターネット環境がない場合などはFAXでの申込も可能です。
必要事項をお知らせしますので、下記問い合わせ先にご連絡ください。
- (2) 申込期間 **令和元年12月3日(火)～令和2年1月17日(金)**
※12月3日より前の申込は、受け付けいたしませんのでご注意ください。
- (3) 定員等 **500名(先着順)**
※参加に当たって、録音・撮影はできませんので、ご留意願います。
- (4) 参加費 **無料**
- (5) 宿泊・昼食 **宿泊が必要な場合は、各自で手配してください。**
また、昼食はセンター内の食堂等をご利用ください。
※ホール内での飲食はできません。
- (6) 会場 **国立オリンピック記念青少年総合センター**
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1
TEL (03) 3469-2525 (代表)



- (7) 問い合わせ先 **独立行政法人国立特別支援教育総合研究所**
総務部 総務企画課 企画評価グループ 企画評価係
〒239-8585 神奈川県横須賀市野比5-1-1
TEL 046-839-6897
FAX 046-839-6919
E-mail v-seminar2019-20@nise.go.jp